



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2019年5月25日 No.91

「あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」1人1要求の取り組み 新制服の導入に関して 要求を勝ちとる！

東日本ユニオンは、全組合員参加による「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」1人1要求の取り組みを通じて制服の改善を求め、2018年から本部・本社間で団体交渉を重ねてきました。その結果、2020年度以降に導入を予定されている新制服に関して、組合側が要求していた多くの項目を勝ちとることができました。

東日本ユニオンの申し入れ（申第11号）の要求とその根拠に対して、経営側は多くの項目で理解と認識の一致を示し「導入を検討していく」ことを5月24日の団体交渉の場において労使で確認しました。

一方で、冬期に使用するインナーベスト（チョッキ）や革靴の貸与、クリーニング代の会社負担などについては、今回、要求の実現には至らず課題として残りました。

新制服（全系統）

◎軽さ、伸縮性を向上させた生地にする



女性社員（営業、車掌、運転士型）の新制服

- ◎ベストの着丈を長くすること
- ◎ベストの胸ポケットの幅等を広げること
- ◎ズボンにアジャスター機能等の追加

男性・女性社員（営業、車掌、運転士型）の新制服

- ◎盛夏服（全系統）は現行の制服と比較し、通気性及び速乾性が向上した生地を検討している
- ◎上着のボタンは現行の制服も含めて、縫い付けの強化を指示していく
- ◎上着の胸ポケットを2つにすること
- ◎サイズ変更の申告などでは、プライバシーが守られるよう必要な配慮をおこなっていく

東日本ユニオンに加入して、労働条件の向上を実現しよう！